

御槇小学校だより

校訓 **みがく まなぶ きたえる**
 教育目標 **心豊かで たくましく生きる児童の育成**



8月号

令和6年9月1日

夏休みは、新たなことに挑戦したり、興味をもっているものにとことん向き合ったり、誰かの人生に触れ、何かを感じ取ったり、本物を見たり触れたり、そういった機会でもあったのではないのでしょうか。2学期は運動会や陸上記録会、学習発表会などたくさんの行事があります。2期からの学校生活でも、子供たちが、見て、聞いて、触れて、やってみることで成長していくことを願っています。小さな挑戦一つ一つが、将来につながっていくものと思います。1学期同様、保護者の皆様や地域の皆様と連携を図りつつ、「心を磨く・進んで学ぶ・体を鍛える」いろいろな活動を支援していきたいと思います。今学期もどうぞよろしく願いたします。



9月の行事予定



日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
2	月	第2学期始業式 大掃除 分団会	22	日	秋分の日
3	火	給食開始	23	月	振替休日
4	水	委員会活動 みまきっこホームワーク～10日	24	火	JTE来校 運動会総練習
5	木	身体計測 認知症普及啓発事業(3～6年)	25	水	クラブ活動
10	水	JTE松下先生来校	26	木	ALT来校
12	木	ALT来校	28	土	運動会前日準備
16	月	敬老の日 	29	日	運動会(第3回学校運営協議会)
20	金	安全点検	30	月	繰替休業日

7/2 高齢者疑似体験!

3～6年生は、宇和島市社会福祉協議会の形山さん、廣澤さんをお招きし、高齢者について、いろいろと教えていただきました。また、高齢者疑似体験をしました。高齢化による身体の老化現象を疑似体験することにより、身体的不自由さや高齢者の心情を理解しました。



7/12 家庭教育支援事業 【おもしろ実験】!

講師の中越先生、宇和島市家庭教育支援チームの廣瀬さんに教えていただきながら、ペットボトル空気砲、ペットボトルごま、手作りマグネットを親子で製作しました。最後にゴム鉄砲を中越先生からいただきました。身近なもので作る「手作りおもちゃ」にみんな大喜びでした。企画していただいた御槇公民館の皆様、中越先生、廣瀬さん本当にありがとうございました。



7/19 えひめクリーン運動で登校路のごみを拾いました！

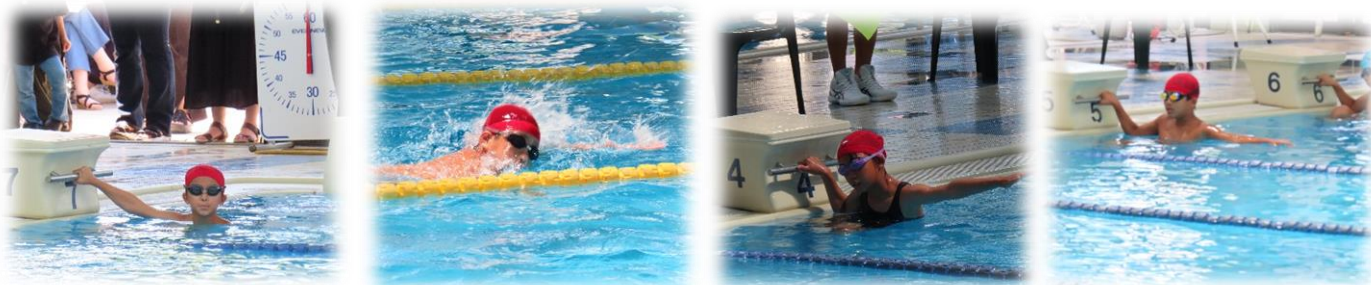
クリーン愛媛運動の一環として、下校時に通学路のごみ拾いをしました。暑い中の活動でしたが、みんなよく頑張りました。



7/22 宇和島市小学生水泳記録会 全員が自己新記録！

梅雨時季の水温の低い時期から始めた放課後水泳練習。水泳練習は、全身運動で水に慣れるまでは、体力的にかなり追い込まれます。弱音を吐いて逃げ出したくなったこともあると思います。でも3年生以上の児童は、最後まで練習をやり切りました。そのことに大きな拍手を送りたいと思います。前日の壮行会では下級生からの力強いエール、そしてたくさんの方の励ましや応援を受け、本番で力を出し切りました。

吉田町ふれあい運動公園で開催された宇和島市小学生水泳記録会。4年生上の4人の児童が出場し、全員が自己ベスト記録を更新しました。男子 25m自由形で6年生男子が2位と8位に、混合リレーで2位に見事入賞を果たしました。全員の頑張りや成長に心から拍手を送ります。様々な面で子供たちを支えていただき、本当にありがとうございました。



7/29 第2回御槇小学校学校運営協議会 熟議しました！

7月29日（月）に、第2回御槇小学校学校運営協議会を開催しました。今回の学校運営協議会は、テーマを「学校と地域の連携」とし、熟議を行いました。学校ができる地域貢献（学校にしてほしい地域活動）、地域資源の学校教育への活用（地域でできる教育活動）について意見を出し合い、よりよい学校と地域の連携の在り方（具体策）についてまとめました。いただいた意見を慎重に検討し、持続可能な活動を取り入れていきたいと考えています。

－ 出された意見 －

- 高齢者との交流** 敬老の日の手紙・プレゼント クロッカー大会 注連縄作り
もちつき 七草がゆ 昔の遊び交流会
一人暮らしの方への声掛け
- 地域学習** 川の生き物教室 森林教室 史跡巡り 源池公園の整備
伝統芸能 野菜作り
- 美化活動** 花いっぱい運動 道路の清掃
- 地域と一緒に防災活動**



日野のつぶやき！

この夏、パリ2024オリンピック・パラリンピックにくぎ付けになった方も多いのではないのでしょうか？私は、スポーツ観戦が大好きで、夜遅くまでテレビを見てしまいました。その中でこんな言葉を耳にしました。

「短所を長所に変えることは美しい。努力に限界はない。」

人は誰も自分自身、嫌だと思うところや自信のないところを持ち、短所だと感じていると思います。しかし、自分の短所を長所に変える方法を見い出して、努力を続けていける人は少ないと思います。オリンピック選手やメダリストたちは、自分の短所を長所に変える努力を怠りません。だから、人はメダリストたちの姿に感動し、美しいと感じるのだと思います。短所は、いつまでも短所であり続けるのではなく、長所に変えることができるのだと、この夏、テレビ観戦をしながら何度も思いました。まさに努力に限界はないのだと思いました。努力し続ける御槇っ子を育てなければと気持ちを新たにしました。そして、努力する子供たちの良き応援団にならなければと強く感じました。